

小学5年生 文章問題16

学習日

月 日

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

夏休みが終わり、二学期に入つて少し経ったころ、小学校では授業参観の日が近づいていた。五年二組の教室の黒板には大きく「授業参観まであと3日」と書かれ、その横にはクラス全員の目標が貼られていた。「はきはき発表する」「友だちの話をよく聞く」「あわてずにやる」などの紙が色とりどりに並ぶ中で、ゆうとは自分の書いた「自分の意見をしつかり伝える」という目標をじっと見ていた。本当は心中で「大丈夫かな」と不安が広がっていた。普段は友だちの前で話すのは平気なのに、家族が来るとなると胸の奥がきゅっと縮むようだった。

授業参観の前日の大夕方、ゆうとの家でも自然との話題になつた。夕ごはんのあと、母が「明日楽しみにしてるよ。ゆうとなら大丈夫」とやさしく言った。しかし、その励ましが逆に重たく感じてしまい、ゆうとは返事ができず黙り込んでしまつた。すると母は少し声を柔らかくして、「緊張するのは、ちゃんとやりたいって思つてる証拠だよ」と言つた。その言葉を聞いて少しだけ気持ちが軽くなつたものの、不安が消えるわけではなかつた。

そして翌日、いよいよ授業参観の日。登校すると、どのクラスでもそわそわした空気が広がつていた。「今日、お母さん来る?」「うちはおばあちゃんだよ」など、ふだんより声が少し弾んでいる。ゆうとも「ぼくのところもお母さんが来るよ」と答えたが、心中ではどきどきが止まらなかつた。

三時間目、ついに国語の授業が始まつた。教室の後ろには保護者がずらりと並び、ゆうとはその視線を感じるだけで胸が高鳴つた。今日の授業は「自分の考えを理由とともに説明する」という内容で、黒板には短い文章が書かれ、それについて意見を述べ合う形式だつた。

最初に手を挙げたのは、元気なりく。りくは堂々とした声で自分の意見を話し、理由もはつきりしていて分かりやすかつた。次に発表したみほは落ち着いて

た声で静かに話し、聞いていて安心できた。二人の発表を聞きたびに、ゆうとはどんどん緊張していく。

「では、次に発表したい人はいますか」と先生が言った。ゆうとは手を挙げようとした。しかし腕が重たく感じて、ほんの少し動いただけで止まつてしまつた。視線を横にそらすと、教室の後ろで母が優しく頷いているのが見えた。ゆうとの心臓はさらにどきどきして、言葉が出てこない気がした。

そのとき、隣のひなたが小さな声で「ゆうと、いけるよ」とささやいた。ゆうとが横を見ると、ひなたは安心させるようににっこり微笑んでいた。その笑顔を見た瞬間、ゆうとの胸の奥に温かいものが広がり、少しだけ勇気が湧いてきた。ゆうとは深呼吸を一つして、そつと手を挙げた。

先生に指名され、教室が静かになる。ゆうとは立ち上がると、喉がからからになつていてるのを感じながら、ゆっくり言葉をつむぎ始めた。

「ぼくは、この文の主人公は、もっと気持ちを伝えたほうがいいと思います。理由は……」

途中で言葉につまつたが、頭に浮かぶ内容をていねいに話した。話し終わると、先生はやわらかくほほえんで「ゆうと、とてもよかつたよ」と言つた。クラスのみんなも温かい拍手を送つてくれた。

席に戻ると、ひなたが

「すごくよかったよ」と小声で言つた。ゆうとは照れたが、心の中には小さな達成感が広がつてた。不安だったけれど、思い切つて一步を踏み出したことで、自分にもできんだと気づくことができたのだった。



小学5年生 文章問題16

学習日

月 日

(1) ゆうとが授業参観前に不安を感じていた理由として、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① 家族の前で発表すると緊張してしまったため、自分の意見をうまく言えるか心配だった。
- ② 国語の授業で扱う文章が難しく、内容をまだ理解できていないと思っていた。
- ③ クラスのみんなの前で話すこと 자체が苦手で、いつも声が小さくなってしまうから不安だった。母に「絶対に失敗しないで」と言われたように感じ、発表に対して強いプレッシャーを受けていた。

(2) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- () ゆうとは、ふだんから家族の前で話すことに自信がある。
- () 授業参観の前日、母の言葉でゆうとの不安はすべて消えた。
- () 授業参観では、最初に発表したのはりくである。
- () ゆうとは、ひなたに声をかけられたが、結局手を挙げることができなかつた。

(3) 登校したときの教室のようすとして、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① いつもより静かで、みんな緊張していた。
- ② 保護者の話題をして、ふだんより声が弾んでいた。
- ③ どの子も発表の練習で忙しくしていた。
- ④ 誰も授業参観のことを意識していなかった。

(4) 授業が始まり、保護者が教室の後ろに並んだとき、ゆうとの緊張を表す言葉を本文から十七字で抜き出しなさい。

(5) ゆうとが手を挙げる勇気をもつきつかけとなつた出来事として、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① りくとみほの発表がとても上手だったこと。
② 母が手をふつて応援してくれたこと。
③ ひなたが「いけるよ」と声をかけ、笑顔を見せてくれたこと。
④ 先生が強く指名したこと。

(6) ゆうとは発表を終えたあと、どのような気持ちの変化を感じましたか。本文をもとに自分の言葉で四十～五十字程度で書きなさい。

小学5年生 文章問題16

学習日

月 日

(1) ゆうとが授業参観前に不安を感じていた理由として、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

① 家族の前で発表すると緊張してしまったため、自分の意見をうまく言えるか心配だった。

② 国語の授業で扱う文章が難しく、内容をまだ理解できていないと思っていた。

③ クラスのみんなの前で話すこと 자체が苦手で、いつも声が小さくなってしまうから不安だった。母に「絶対に失敗しないで」と言われたように感じ、発表に対して強いプレッシャーを受けていた。

(2) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

(×) ゆうとは、ふだんから家族の前で話すことに自信がある。

(×) 授業参観の前日、母の言葉でゆうとの不安はすべて消えた。

(○) 授業参観では、最初に発表したのはりくである。

(×) ゆうとは、ひなたに声をかけられたが、結局手を挙げることができなかつた。

(3) 登校したときの教室のようすとして、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

① いつもより静かで、みんな緊張していた。
② 保護者の話題をして、ふだんより声が弾んだった。
③ どの子も発表の練習で忙しくしていた。

④ 誰も授業参観のことを意識していなかった。

(4) 授業が始まり、保護者が教室の後ろに並んだとき、ゆうとの緊張を表す言葉を本文から十七字で抜き出しなさい。

その視線を感じるだけで胸が高鳴った

(5) ゆうとが手を挙げる勇気をもつきつかけとなつた出来事として、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

① りくとみほの発表がとても上手だったこと。
② 母が手をふつて応援してくれたこと。

③ ひなたが「いけるよ」と声をかけ、笑顔を見せてくれたこと。

④ 先生が強く指名したこと。

(6) ゆうとは発表を終えたあと、どのような気持ちの変化を感じましたか。本文をもとに自分の言葉で四十～五十字程度で書きなさい。

解答例)
不安だったけれど、一歩ふみ出したことで自分にも発表ができると気づき、小さな達成感を感じた。